

# 編集後記

精一杯の日々を過ごしや々と辿り着いた幼稚園教諭一年目の夏休み。私が勤めていた園では、夏休み中の出勤日は一日だけで、他の日は研修日となっていました。

保育者向けのセミナー、版画や和太鼓の講習、音楽リズムの練習と発表会に参加しましたが、特に先輩先生に勧められたのは観劇でした。

幼い時人形劇を見せてもらったという事実はあっても記憶が無く、僅かにテレビで見ただけでどんな人形劇団があるかも知りませんでしたので、可能な限り数多くの人形劇を観に行きました。その中には私がテレビを通して大好きになったものもあり、懐かしさと共に生の舞台の楽しさを知ることができました。

\*

現在、地域で親子劇場という団体に所属しています。ここでの活動の柱の一つに子どものための優れた舞台芸術の鑑賞がありますが、会員が激減する中で、自分たちの会費だけでは大掛かりな作品の鑑賞は難しくなっています。そこで、(会員ではない)地域の子どもたちと一緒に鑑賞できる企画をするようになっています。時間も手間もかかり、人が集まらなかつたらというリスクもありますが、それでも自信を持って、みんなで優れた作品を見ましよう、と言えるのは、シャワーを浴びるようにたくさんの人形劇を観ることができたおかげなのだ二十年前の夏を思い出しています。(河合)

## 幼児の教育

第一〇三巻 第八号

(二〇〇四年八月号)

定価五五〇円(本体五二四円)

発行 平成十六年八月一日

編集兼発行人 田代和美

発行所 日本幼稚園協会

〒112-8610 東京都文京区大塚二-1-1

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

〒108-8620 東京都港区三田五-1-1

発売所 株式会社 フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込

六一四一九

〇三-五三九五-六六一三(営業)

〇三-五三九五-六六〇四(編集)

振替 〇〇一九〇-1-196400

☆

本誌ご購入のご注文は発売所フレーベル館にお願いいたします。

☆ 万一、乱丁・落丁などがございましたら、おとりかえいたします。